

ウチナーンチュ

何処へ行く・沖縄人

地域文化の創造と持続

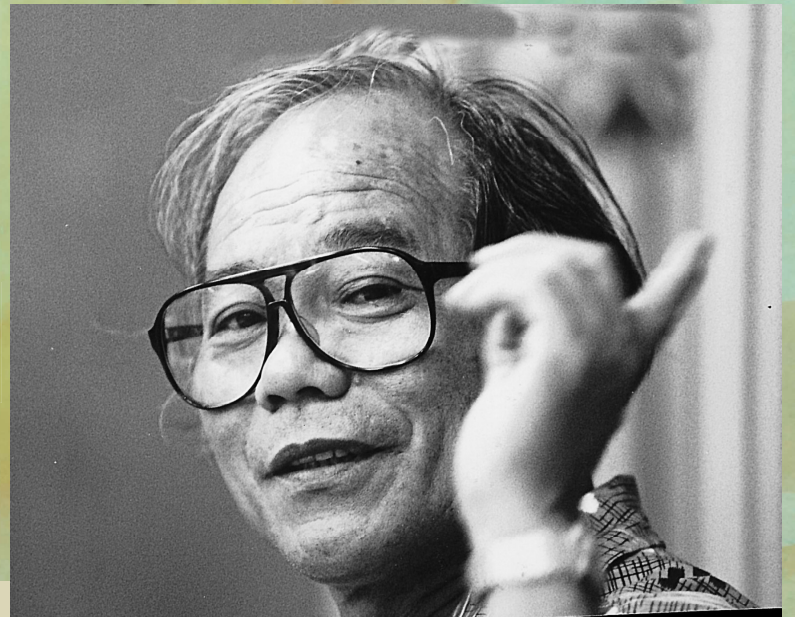
沖縄とは何か、伝統とは何か、ウチナーンチュとは何か。
文化活動のあるべき姿を模索し、問い続けてきた氏が
幸喜流の文化活動を語ります。

午後 5 時開演
(30 分前開場)

3月15日(金)

会場
沖縄県立博物館
講堂

参加無料
申込み不要
先着順 200 名様



幸喜 良秀 沖縄市宮里出身。

コザ高校、琉球大学国文科を卒業し、中学校教諭を 29 年間勤務し、1991 年
沖縄県庁へ転出。観光文化局長、商工労働部長を歴任し、1999 年に定年退職。
琉球大学演劇クラブ時代、演出家を目指す。1961 年演劇集団「創造」を結成し、
代表となる。「アンネの日記」「人類館」などを演出し、現代劇創造の可能性
を追求する。1987 年沖縄芝居実験劇場を設立。『世替りや世替りや』『さらば
福州琉球館』新作組踊り『山原船』『海の天境』などを演出し、いずれも好評
を博す。2010 年から 2013 年まで国立劇場おきなわの芸術監督兼企画制作
課長。沖縄タイムス芸術選賞大賞、琉球新報活動賞などを受賞。2018 年「タ
ンメーたちの春」演出。